

# 中国での事業展開の成功を考える 知財戦略

＝現地での知財対策のあり方＝

住友化学(上海)有限公司  
津田 小亮

2006年2月22日

# 進出企業が抱える問題点

- ・権利侵害分野：  
食品、日用品、オートバイ、自動車、等 完成品から各種  
部品の全工業分野。
- ・侵害事例：商標権、意匠権、特許権  
デザイン/商標を盗用し、本物に似せたデッドコピーに集中。
- ・被害状況：悪化の傾向との回答が60%を占める。
- ・中国政府も国務院主導で12部門が改善/監督/処理を実施。  
(以上 2004年中国日本商工会/JETROアンケート結果引用)
- ・進出企業で知的財産部門の設置は僅少。
- ・大半の企業では、個別対応に限界。  
⇒ 経済産業省/JETRO支援の北京IPG(2000)、上海IPG  
(2002)、広東IPG(2005)発足。

# 組織活動の事例と成果(上海IPG)

- ・知財関連の情報交換(勉強会):20回開催⇒自社対策へのヒント  
#各社事例紹介、日系法律事務所講演、業界の取組み、  
欧米/中国企業の取組み、日本政府の取組み 等
- ・中国当局との関係強化⇒門戸を開ける。個別対応に有用。  
#上海市工商局/税関との意見交換会
- ・中国日本商工会(北京/上海IPG)で権利集/摘発支援集発行  
(04/05):当局法執行Groupと模倣品取締りセミナー開催(5ヶ所)
- ・「模倣品水際対策WG」発足(2005):税関検査官対象のセミナー  
実施の予定。
- ・成果:
  - ①日本本社内に中国/知財問題の取組みが強化された。
  - ②中国政府機関との関係ができ、摘発の成果を得ている。

# 中国での今後の知財戦略

- ・営業戦略と密着した知財戦略の構築

  - #中国の特殊事情に適合する戦略。

    - ⇒ 自社の知財権(自社製品)の独自の保護  
対策構築。

    - ⇒ 模倣品対策、類似商標対策、ドメイン取得 等

- ・中国当局との協力体制の構築

  - 中央レベル(法制面の整備/基本方針):

    - 官民合同Mission 等

  - 地方レベル(営業現場の管理監督):

    - IPGの活動、個別対応 等

# IPGに関するお問合せ先

## 北京IPG(JETRO北京 知的財産権部)

TEL:+86-10-6528-2781 FAX:+86-10-6528-2782

<http://www.jetro-pkip.org/>

(JETRO北京センター知的財産権部HP)

## 上海IPG(JETRO上海 知識産権部)

TEL:+86-21-6270-0489 内線1200、1201 FAX:+86-21-6270-0499

[http://jetro.go.jp/china/shanghai/jp/knowledge/ipg\\_report/index.html](http://jetro.go.jp/china/shanghai/jp/knowledge/ipg_report/index.html)

(上海IPG関連情報)

## 広東IPG(JETRO広州)

TEL:+86-20-8752-0060 内線131 FAX:+86-20-8752-0077

**ご静聴ありがとうございました。**